

## 他市との比較

### ■ごみ種別 1 人 1 日あたりごみ量比較

2018 年度の家庭系可燃ごみの 1 人 1 日あたりごみ量は、町田市は 400.8g/人日に対し、調布市は 310.2g/人日、狛江市は 380.9g/人日、多摩市は 394.0g/人日となっています。

収集した家庭系可燃ごみによる組成調査の割合からごみ種ごとにみると、3 市平均と比較して、生ごみは 15.3g/人日、草類は 30.1g/人日多くなっています。

図 1 可燃ごみの組成割合から算定したごみ種別 1 人 1 日あたりごみ量比較

	生ごみ	プラ	草類	資源化 できない紙	資源化 できる紙	繊維類	おむつ	その他	合計
調布市	139.5	17.0	7.1	48.0	31.3	11.6	27.7	28.0	310.2
狛江市	115.3	80.4	23.2	34.3	47.4	10.5	55.1	14.7	380.9
多摩市	111.9	88.9	2.0	17.3	37.2	27.8	-	108.9	394.0
3市平均	122.2	62.1	10.8	33.2	38.6	16.6	41.4	36.8	361.7
町田市	137.5	93.8	40.9	34.9	25.3	10.4	44.5	13.5	400.8
町田市と3市平均の差	15.3	31.7	30.1	1.7	-13.3	-6.2	3.1	-23.3	39.1

(g/人日)

※ おむつについては、多摩市は分類がなく、その他に含まれているため、平均は 2 市のもの。

(3 市を比較対象とした理由)

調布市：家庭系可燃ごみの量が少なく、多摩地域の中で町田市に人口に近い。

狛江市：町田市同様、プラの回収を行っていない。

多摩市：近隣市であり、地域性が近いため。

図 2 可燃ごみの組成割合 (町田市)

